

教育研究業績書

2017年05月29日

所属：情報メディア学科

資格：講師

氏名：井上 重信

研究分野	研究内容のキーワード
広告コミュニケーション全般	広告, コミュニケーション, クリエイティブ, メディア, マーケティング, 消費者行動, ソーシャルキャピタル
学位	最終学歴
修士 (商業学/慶応義塾大学), 修士 (国際会計/中央大学)	中央大学大学院 国際会計研究科 国際会計専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. PBL (Project Based Learning) の実践として	2010年～現在	<p>広告メディア演習では、具体的にテレビCFを制作させている。クリエイティブブリーフや絵コンテの作成を通じてアイデアや自分たちの伝えたいメッセージを整理させ、コミュニケーションの意味や難しさを理解させている。</p> <p>また、班に分かれての制作なので、チームワークの重要性、チーム内での自分の役割を理解させている。</p> <p>国際ビジネス論では、企業を取り巻く環境や抱えている課題などについて解説した上で学生たちの考えや意見を発表させることで理解を深めている。</p>
2 作成した教科書、教材		
	2010年～	<p>広告メディア演習において、広告制作のアイデアを検討するため(スライド)を作成。</p> <p>国際ビジネス論において、学生の理解促進及び課題認識のため新聞記事や雑誌のコラムなどの関連資料を配布。</p> <p>両科目とも講義内容のメモが取れるようスライドをテキストとして配布。</p>
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 他大学での講義・スピーチ等	2010年～	<p>2010年12月 拓殖大学商学部田嶋規雄ゼミにて広告実務の基礎を講義。</p> <p>アルコール飲料のプロモーションの企画立案とプレゼンテーションを指導。</p> <p>2013年7月 東海大学政経学部遠藤誠二ゼミにて広告実務の基礎を講義。</p>

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. マーケティングの理論と焦点	共	2017年1月5日	中央経済社	<p>売り手としての企業行動、買い手としての消費者行動、それらが連結した結果である交換をマーケティング理論の中心的焦点ととらえ、今日のような問題を考えるべきかを探究している。</p> <p>その中で現代社会で重要な役割を果たしているインターネットと消費者行動理論の接合点を検討。</p>
2. コミュニティの再生	共	2016年3月12日	中央経済社	<p>市場経済の発展に伴う利己的な動機に基づく行動原理を背景に、社会は便利になり効率的になるが、人と人との相互の信頼や思いやりで結ばれる「コミュニティ」が失われつつある。その再生が社会経済の大きな課題となる中、「コミュニティ」そのものを正面に据え、それに関する議論の系譜と理論的枠組み、今日的な課題などを体系的かつ総合的に示されるように構成されている。</p>
2 学位論文				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
1. 修士論文	単	2004年3月	中央大学国際会計研究科	「ブランド価値評価モデル」の実務における課題と展望（中央大学）
2. 修士論文	単	1991年3月	慶応義塾大学大学院商学研究科	公共財供給へのマーケティング概念適用の研究（慶応義塾大学）
3 学術論文				
1. インターネット時代のコーポレート・ソーシャル・キャピタル研究序説	単	2015年9月	龍谷大学経営学論集	顧客コミュニティの戦略的活用に向けた概念フレームワークの提案
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. レポート	単	1997年～	日本広告業協会	1997年7月 JAAA Report 「伸びる医薬品の広告費」 1999年7月 JAAA Report 「エンターテインメント産業におけるバイオレンス性と広告表現」
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			